



「超我の奉仕」

2005-2006 年度国際ローターのテーマ

RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

第2640 地区ガバナー 平尾寧章



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第1432 回例会 18年2月27日(月)

於 海南商工会議所 4F 12:30~

1. 開会点鐘 会長 塩崎博司
2. ロータリーソング 「手に手つないで」
3. 出席報告
会員総数 74 名 出席者数 50 名 出席免除会員 2 名
出席率 69.44% 前回修正出席率 81.94%

4. 会長スピーチ 会長 塩崎博司



皆さんこんにちは。昨日まで WCS の訪問で、フィリピン・ルバング島へ行ってきました。昨年プロジェクトで実施した「カシューナツの木プランテーション」ですが、今回はその確認と進捗状況を視察いたしました。訪問には海南西 RC の 2 名の方も参加いただき、4 日間の日程で行いました。

ルバング島へは昨年も訪問いたしました。そのとき寄贈した「豚」「鶏」も大きく成長し、繁殖もすでに行われていました。大きな産業もなく貧困に苦しむ島民の生活向上を目指して実施した WCS 活動が序所にはありますが、着実に成果を挙げているように思われます。また、カシューナツ



の木プランテーションも始まっており、これも早く実を付け、収穫できることを期待したいと思います

す。レイテ島の大規模な土砂崩れから端を発したフィリピンの政情不安が報道されていましたが、ルバング島では平和な毎日でした。無事に訪問を終え、帰国できて良かったと思います。

5. 幹事報告

- メーキャップ
田辺東 RC 土井元司君 谷脇良樹君 2/22
海南 RC 倉橋利幸君 2/22
和歌山東 RC 中村雅行君 2/23
- 例会臨時変更
那智勝浦 RC 3月9日(木)→3月5日(日)
18:30~ホテルなぎさや
(新入会員歓迎会並びにIM反省会)
海南西 RC 3月16日(木)→3月16日(木)
三菱重工神戸造船所(企業見学)
3月30日(木) 19:00~
花見例会(藤白神社)

6. 委員会報告

- 社会奉仕委員会 宮田敬之佑委員長
例会終了後残って下さい。

7. 会員卓話 地区代表幹事 楠部賢計様

国際ロータリー2640 地区の平尾年度も皆さんの協力のおかげで無事に経過し、地区大会をはじめとする主な大きな行事を終えることができました。改めて皆様に御礼申し上げたいと思います。また、地区副代表幹事、地区幹事の皆さん。委員長会議など多くの地区行事にご尽力いただき、感謝申し上げます。地区の幹事として、私自身は初めての経験であり、何もわからない状態でスタートいたしました。平尾ガバナーはもとより、行事予定表をご覧いただいてもわかるように地区の仕事は大変に多忙です。地区の PG は現在 13 名で、平尾ガバナーは 24 代目です。次に地区の組織は委員会とはじめ、別紙の資料のとおりです。懸案事項は、CLP (クラブリーダーシップ プラン)、RICJ (ロータリー情報センター ジャパン) であります。これは、組織の活性化のため、



四つのテスト

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深められるか
- ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：塩崎博司 幹事：木地義和 SAA：山畑弥生

これまでの4大奉仕部門の分類の再編やHPの統合などですが、いずれも、検討課題となります。2640地区には、76クラブがあり、約2,700名のロータリアンが加入されています。一番大きなクラブでは93名であり、わがクラブは4番目になりますが、一番小さいクラブは堺南西RCの5名です。しかし、この最小クラブがIMのホストを担当いたしました。現実にはクラブの運営を考えるとときびしいものがあり、会員増強の必要性も理解できます。公式訪問では、富田林南RCの「なぜなぜ分析」クラブ奉仕委員会の計画など、事業計画について質問がありました。また、先日参加したローターアクト全国研修会では「いらっしやい、未知なるKeyを見つけ出そう」のテーマでした。次年度のエレクト事務所も開設され、残り6月まで、マルメ・コペンハーゲンの国際大会・ジャパンナイトなどまだまだ沢山の事業がありますが、皆さんの更なるご協力、引き継ぎたいと思います。よろしくお祈りします。

8. 次回例会

第1433回例会 平成18年3月6日(月)
12:30~ 海南商工会議所4F

*** ニコニコ・BOX ***

塩崎博司君	卓話宜しくお祈りします。
倉橋利幸君	スペインへ行ってきました。飛行機乗り継ぎで大変でした。
平尾寧章君	地区大会のお礼もらっています。
楠部賢計君	久しぶりに卓話させていただきます。聞いて下さい。
山本敬作君	何もありませんが・・・。
深谷政男君	塩崎さんWCSでルバング島訪問御苦労様でした。
中西秀文君	三笑会楽しかったです。



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ローターの友

タイ国のロータリーセンター世界級の大学に

タイ国でロータリー平和及び紛争研究のクラスに最初の学生が入学する時には、世界級の大学で特別に作られたコースに参加する事になります。講座はバンコクのチュラロンコーン大学に新規に作られて7月に開講します。国際的に長期に渉り認知されていたタイ国の最も古い大学が新しい栄誉を得ました。ロンドンのタイムズ紙2005年度世界高級大学ランキングによると、チュラロンコーン大学は200の主要大学中の121位です。一覧表のトップ5大学はハーバード、マサチューセッツ工科大学、ケンブリッジ、オックスフォード、スタンフォード大学です。”米国のミシガ

ン州立大学、フランスのソルボンヌ大学と同じ位置に在りますとタイ国教育省の高官が述べたと2005年11月のタイ国の全国紙が報じました。タイムズ紙の表には、チュラロンコーン大学を南東アジアでの第3番目の優秀大学とし、アジア太平洋地域では35番目の大学です。特別に平和研究用に造られた集中カリキュラムによるチュラロンコーン大学での3ヶ月コースは紛争予防と解決の方法を、会社の中間職や幹部、政府やNGO達に教えます。この計画は参加者に、平和維持についても訓練を行い、卒業生には平和と紛争研究終了の証書が渡されます。

ポリオネットワークを鳥インフルエンザ対応に活用提案

先週、北ナイジェリアで鳥インフルエンザが3件が報告され、アフリカで始めてH5N1ウイルスが発見されました。これに即座に対応して、世界保健機構が同国内のポリオ撲滅用組織の利用を申し出ました。2月9日に発表の声明文で、WHO事務局長の李鐘郁博士が、この危機に当り、ナイジェリア政府への支援を申し出ました。種々の示唆の中には、2月11、14日に実施する全国統一ポリオ防疫日に一般の人に鳥インフルエンザの情報を流すことが含まれておりました。多くの村では鶏を食用や販売用に、放し飼いをしているナイジェリアでは生死に拘わる、ウイルスに汚染された鶏に触る事が危険なことを広報する必要があります。人間に対する面では、検証用に病菌のサンプル採取や輸送、鳥インフルエンザの技術者の移動支援などが含まれておりますと世界ポリオ撲滅イニシアチブのリンダ・ミューラー広報官が述べました。ポリオ撲滅用の人的と技術的インフラを使用する事は、アフリカのようにHIV/AIDS、肺病、マラリアの患者への対応で、手が一杯で保健システムの脆弱な国では特に有効です。若しもナイジェリア政府がWHOの申出を受諾すれば、ポリオ撲滅ネットワークが、鳥インフルエンザの早期発見と対策支援の最初の事例になります。然し、現在の時点では、ナイジェリア政府はワクチン配布者が鳥インフルエンザに関する質問に答えられないかもしれないとの理由で、PR活動実施を拒否しました。その代わりに”現地の監督者が、鶏に気をつけるようにと村長に伝え、そこから最善の方法で村民に伝達をしてもらう”とワシントンポスト紙が報じました。極めて発病生の高いH5N1ウイルスはナイジェリアのカンザナ州で発見され、翌日には、病原菌がカノ州で2件、隣県のプラトーで1件が確認されました。鶏への伝染力が速く、重病になり、人間も死亡し、このウイルスは非常に危険なものです。ナイジェリアのWHOのポリオ対策チームには、440名の職員が居り、57名が非ナイジェリア人です。職員の大多数はナイジェリア北部に居り、主な任務は注射、病疫監視、現地人の動員です。ミューラー広報官によると在ナイジェリアのチームは本部の「流行病・世界流行病警戒・対応部」と緊密な連携を取って活動をしております。